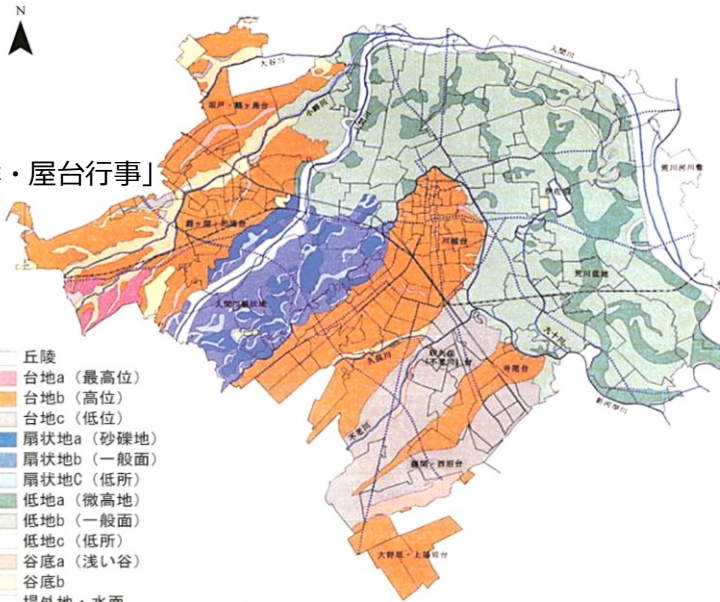


04 川越市文化財保存活用地域計画【埼玉県】

- 【計画期間】令和6～15年度（10年間）
- 【面積】約109.13km²
- 【人口】約35.3万人
- 【関連計画】ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」



- 丘陵
- 台地a (最高位)
- 台地b (高位)
- 台地c (低位)
- 扇状地a (砂礫地)
- 扇状地b (一般面)
- 扇状地c (低所)
- 低地a (微高地)
- 低地b (一般面)
- 低地c (低所)
- 谷底a (浅い谷)
- 谷底b
- 堤外地・水面
- 人口改變地

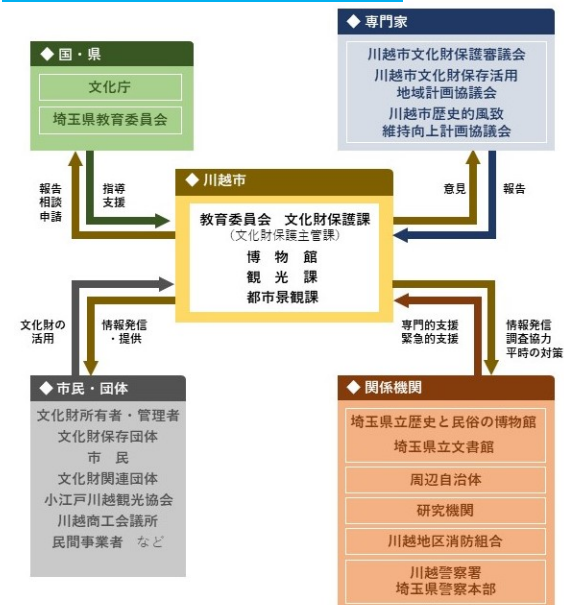
指定等文化財は、263件
未指定文化財は、1,889件把握

指定等文化財件数一覧

令和5年4月1日現在

種別	国指定等文化財		県指定文化財		市指定文化財		合計		
	種類	件数	種類	件数	種類	件数			
有形文化財	建造物	5	建造物	9	建造物	51	65		
	絵画	2	絵画	2	絵画	1	5		
	彫刻	0	彫刻	2	彫刻	12	14		
	工芸品	3	工芸品	5	工芸品	18	26		
	書跡・典籍・古文書	1	書跡・典籍・古文書	7	書跡・典籍・古文書	28	36		
	考古資料	0	考古資料	1	考古資料	6	7		
	歴史資料	0	歴史資料	1	歴史資料	6	7		
登録有形文化財(建造物)							12		
無形文化財	重要無形文化財	0	無形文化財	0	無形文化財	0	0		
	重要有形民俗文化財	0	有形民俗文化財	1	有形民俗文化財	20	21		
	重要無形民俗文化財	1	無形民俗文化財	6	無形民俗文化財	12	19		
記念物	史跡	2	史跡	3	史跡	31	36		
	名勝	0	名勝	0	名勝	0	0		
	天然記念物	0	天然記念物	1	天然記念物	8	9		
	旧跡		旧跡	4			4		
	登録記念物	1					1		
文化的景観	重要文化的景観	0					0		
	伝統的建造物群	1					1		
国 合計		28	県 合計		42	市 合計		193	263
合計							263 件		

川越市の推進体制



川越市の歴史文化の特徴

1 マチの歴史文化

鎌倉時代の河越氏の居館である河越館跡、戦国から江戸時代にかけての川越城とその城下町など、川越には古くから多くの人々が集住した場所が見られます。江戸時代の川越城があった範囲には、明治時代から現在にいたるまで、市庁舎を始めとする役所が置かれ、また旧城下町の蔵造り町家など、今も川越を語るうえで欠かせない多くの歴史遺産がマチに見られます。

2 ムラの歴史文化

縄文時代から平安時代にかけて、ムラの生活の痕跡が見られます。再び人々の動きが確認できるのは、主に戦国から江戸時代にかけてです。江戸時代、現在の市域には1つの町と92の村があり、ムラの時代といっても過言ではありません。明治時代には、これらの村が合併して川越町や芳野村などが生まれました。これらのムラが、川越の生産や工業を支えました。

3 ミチの歴史文化

古代の駅路である東山道武蔵路に面した入間郡家、それを抑えるように設置された河越館跡等、マチとマチとは密接な関係があります。江戸時代の川越街道や新河岸川等は、川越や江戸のようなマチを結ぶとともに、周辺のムラとも密接につながっています。流通や交通の結節点である川越の特徴について、マチとムラのそれぞれが有機的に結ばれるミチの要素は不可欠です。

【将来像】歴史が人を結ぶまち 川越

方向性	①歴史遺産を知り、掘り起こす	②歴史遺産を守り伝える	③歴史遺産の価値を広める	④歴史遺産とともに歩む
課題	<p>①歴史遺産に対する現況把握・調査をする必要があります</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定等文化財は、今後も定期的な現況把握が必要。 祭礼山車は、保存・活用に必要な図面等の作成が必要。 歴史的建造物は、基礎的な資料による詳細把握と、長期的な計画に基づく修理・保存・活用が必要。 <p>…ほか</p>	<p>②歴史遺産の管理・保存修理を強化する必要があります</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切に歴史遺産を収集・保存・管理することが必要。 市が管理する歴史的建造物の計画的な修理工事等の実施が必要。 歴史的建造物の防火・防災について、適切な設備配置、防災マニュアル等の整備が必要。 <p>…ほか</p>	<p>③歴史遺産の魅力発信を強化する必要があります</p> <ul style="list-style-type: none"> 著名な歴史遺産が市の中心部に偏っており、周辺地域の歴史遺産の周知が必要。 来訪者が本市の歴史遺産を知ることができるよう、手軽に情報を収集できる環境が必要。 子どもたちが歴史遺産を知る機会を増やすことが必要。 <p>…ほか</p>	<p>④歴史遺産の保存・活用体制を強化する必要があります</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民協働やボランティア等の事例が少なく、地域住民や団体との連携が不足。 歴史遺産の保存・活用のため、専門的な助言を得る機会が必要。 地域住民が守りたい歴史遺産を把握できる体制作りが必要。 <p>…ほか</p>
方針	<p>①歴史遺産の現状を把握する調査を行います</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定等文化財は、定期的に現況を把握する。 祭礼山車の調査や実測図面を作成する。 歴史的建造物の図面作成や、耐震診断などの調査を実施する。 <p>…ほか</p>	<p>②歴史遺産を適切に管理・保存します</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史遺産を博物館等で適切に収集・保存・管理する。 市管理の歴史的建造物について適切な保存修理を実施する。また、個別の文化財について保存活用計画の策定を進める。 防火・防災設備の定期的な点検や設備の更新等を計画的に実施する。 <p>…ほか</p>	<p>③歴史遺産の魅力について発信し、情報提供します</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の歴史遺産を巡る周遊ルートを検討する。また、市中心部以外の地区にある歴史遺産の周知を図るイベントを実施する。 IT等の活用で、歴史遺産の情報を簡単に得られるよう工夫する。 市内の小中学校の児童・生徒が歴史遺産の理解を深め、郷土に対する愛着・誇りを育める機会を創出する。 <p>…ほか</p>	<p>④歴史遺産を保存・活用する体制を強化します</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民、諸団体と連携し、歴史遺産の保存・活用を行う。 文化財保護審議会などで得た専門的知見に基づき、歴史遺産の保存・活用を行う。 市職員以外にも歴史遺産の調査活動を行う人員を確保する。 <p>…ほか</p>
措置の例	<p>4市指定文化財建造物の調査</p> <p>市指定文化財建造物の調査を行い、図面のないものは作成します。場合によって耐震診断を行い、計画的な保存修理工事につなげます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆行政・市民・団体・専門家 ◆R9～15 	<p>17原田家住宅の保存修理と活用の検討</p> <p>市指定文化財原田家住宅について、調査を踏まえた適切な保存修理を行い、活用に向けて検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆行政・団体・専門家 ◆R6～15 	<p>27「歴史遺産めぐり」の実施</p> <p>関係課の協力を得ながら、伝建地区を始めとする市内の歴史遺産を巡り歩くイベントを実施し、市民の関心を高めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆行政・団体 ◆R9～15 	<p>49「文化財探検隊」の育成と歴史遺産の調査</p> <p>市内の地区ごとに、市民の活動団体「文化財探検隊」（仮称）を育成し、歴史遺産の把握調査を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆行政・市民・団体 ◆R9～15

関連文化財群

関連文化財群とは、これまで個々の歴史遺産だけで語られてきた地域の歴史を、いくつかの歴史遺産を結びつけて一つの物語としてまとめたもの。川越の歴史を語る一つの手法として提示。ストーリーにより個々の歴史遺産を結びつけることで、多くの人々にとってより歴史遺産に対する親しみやすさが増すと考える。

河越館跡
山王塚古墳
など



喜多院
川越氷川祭の山車行事
大沢家住宅
旧山崎家別邸 など



河越茶
新田開発
地割遺構 など

A ヒト・モノ・コトの集散地

B 「小江戸」文化

C 新しいもの好き

D 台地の暮らし
低地の暮らし

関連文化財群

E 災害と復興の
あゆみ

小仙波貝塚
サツマイモ など



奥貫友山墓
川越市川越伝統的
建造物群保存地区 など

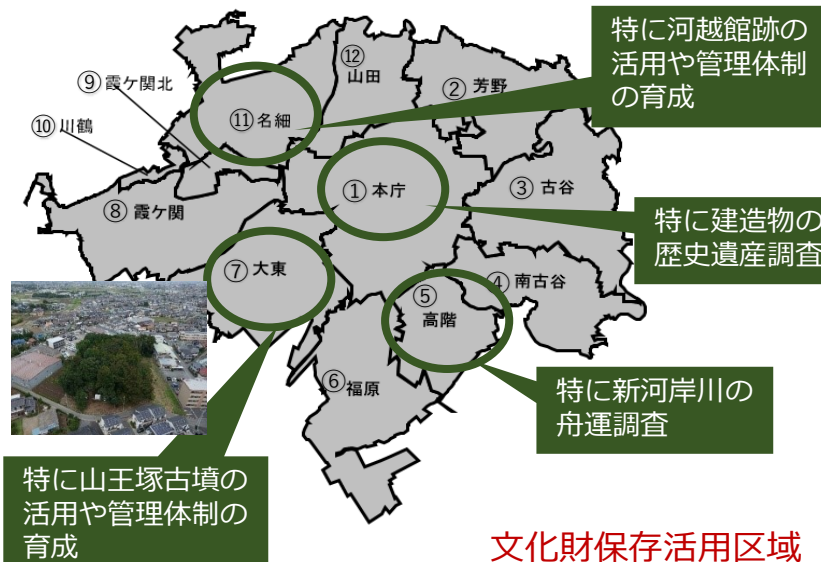
文化財保存活用区域

川越市では、現在12地区ごとに、地域の人たちとともにより良い地域づくりに向けた話し合いを行う場として、地域会議の設置が進んでいる。本市のこの地区という枠組みを、そのまま文化財保存活用区域として、地域会議の枠組みを参考に、部会等による歴史遺産の調査を通して、地域総がかりで文化財守る体制を目指す。

《課題》
地区内の歴史遺産について
周知と調査が必要

《方針》
市民とともに地区の歴史を
学び、未調査の歴史遺産を
調査する

《措置》
調査・講座等の実施
国史跡の活用・管理体制育成
…ほか



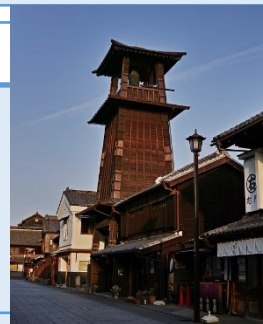
【関連文化財群】 B 「小江戸」文化

1. 概要

「小江戸」という言葉は川越と江戸・東京の密接なつながりを示すキーワード、かつ川越の代名詞として広く定着しているが、川越での初出は大正時代であり比較的新しい呼び名である。しかし、それ以前から川越と江戸・東京の結びつきは強く、例えば17世紀前期に三代将軍の徳川家光はたびたび川越城を訪問した。また、江戸の天下祭の様式に影響を受けた川越氷川祭の山車行事や、東京の商家に似せた蔵造り町家など、江戸・東京から多くの文化が川越にもたらされた。

2. 主な歴史遺産

建造物：喜多院〔国指定〕、東照宮〔国指定〕、三芳野神社〔県指定〕、氷川神社本殿・八坂神社社殿〔県指定〕
 大沢家住宅〔国指定〕、時の鐘〔市指定〕、埼玉りそな銀行旧川越支店（第八十五銀行本店本館）〔国登録〕
 旧山崎家別邸〔国指定〕
 絵画・彫刻：三十六歌仙額〔国指定〕、木造天海僧正坐像〔県指定〕
 古文書：榎本弥左衛門覚書〔県指定〕、上新河岸遠藤家文書〔市指定〕、元町二丁目井上家文書〔市指定〕
 民俗文化財：川越氷川祭の山車行事〔国指定〕、川越氷川祭山車〔県指定〕
 遺跡：川越城跡〔県指定〕、新河岸川河岸場跡〔市指定〕 伝統的建造物群：川越市川越伝統的建造物群保存地区〔国選定〕



3. 課題

- ・ 関連文化財群の歴史遺産について、新河岸川舟運に関する調査が必要。
- ・ 関連文化財群の周知が必要。

4. 方針

- ・ 関連文化財群の調査として、新河岸川舟運に関する調査を実施する。
- ・ 関連文化財群の周知のため、歴史講座や「歴史遺産めぐり」のような町歩き講座などを実施する。また、その情報発信について、展示会の実施や周遊ルートを検討し、周知に努める。

5. 措置

■ B-1 歴史遺産の調査

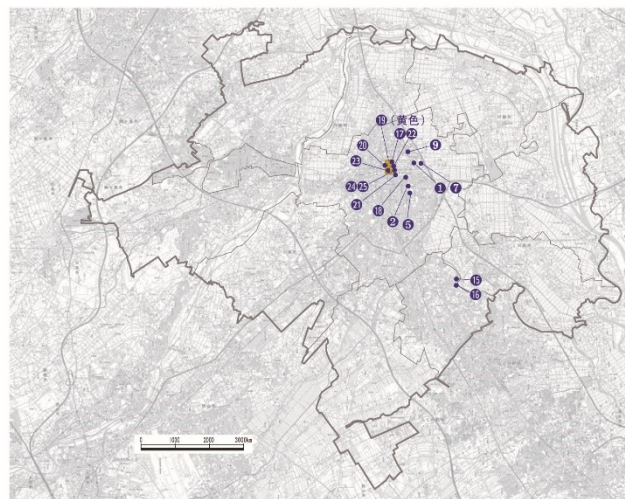
関連文化財群Bの歴史遺産について、新河岸川舟運に関する調査を行う

- ◆ 行政専門家
- ◆ R6~15

■ B-3 「歴史遺産めぐり」の実施

関連課の協力を得ながら、伝建地区を始めとする市内の歴史遺産を、関連文化財群Bのもとに巡り歩くイベントを実施する

- ◆ 団体、行政
- ◆ R 9~16

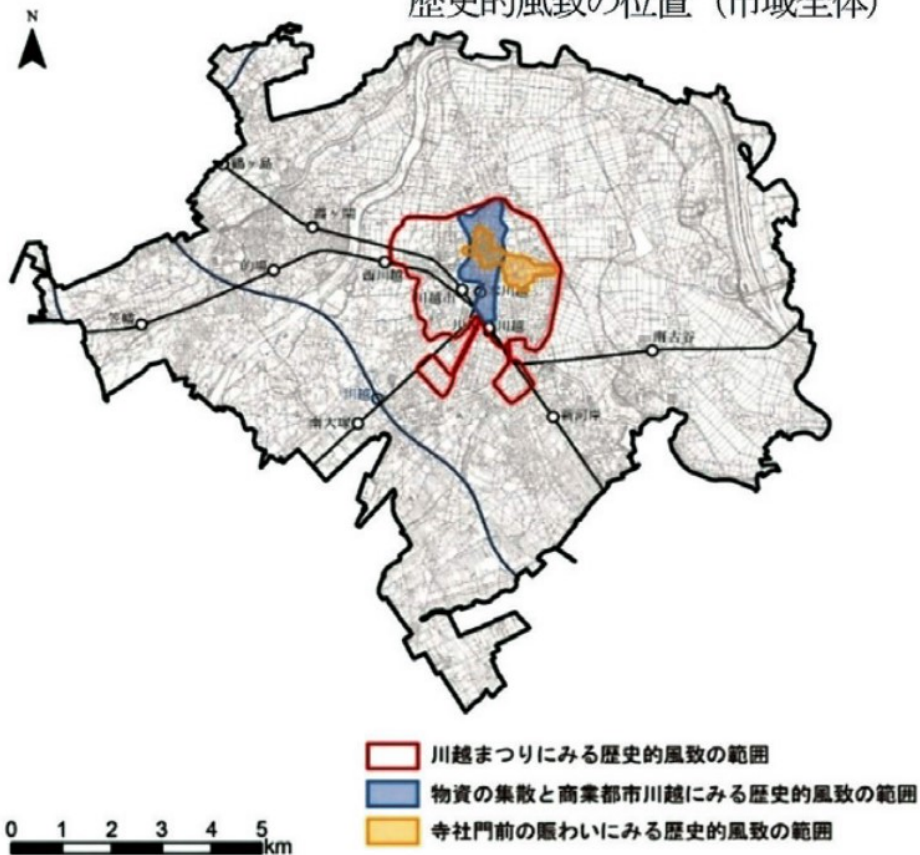


番号	名称
①	川越城跡
②	喜多院
③	三十六歌仙額
④	木造天海僧正坐像
⑤	東照宮
⑥	應繪額
⑦	三芳野神社
⑧	三芳野天神織起
⑨	氷川神社本殿、八坂神社社殿
⑩	榎本弥左衛門覚書
⑪	上新河岸遠藤家文書
⑫	牛子河岸嶋村家文書
⑬	元町二丁目井上家文書
⑭	喜多町水村家文書
⑮	新河岸川河岸場跡
⑯	齋藤家住宅
⑰	大沢家住宅
⑱	永島家住宅
⑲	川越市川越伝統的建造物群保存地区
⑳	旧小川家住宅（蔵造り資料館）
㉑	原田家住宅
㉒	時の鐘
㉓	埼玉りそな銀行旧川越支店
㉔	旧山崎家別邸
㉕	旧山崎氏別邸庭園
㉖	川越氷川祭の山車行事
㉗	川越氷川祭山車

【参考】 関連計画等

川越市歴史的風致維持向上計画（第2期：R3～R12年度）

歴史的風致の位置（市域全体）



重点区域の位置

